

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (物品)

契約番号：8807

|                       |   |                     |
|-----------------------|---|---------------------|
| 件名                    | 高規格救急自動車購入  |                     |
| 履行場所                  | 海老名市大谷 8 1 6 番地   |                     |
| 期間                    | 本契約締結日 ~ 令和 9 年 2 月 28 日  |                     |
| 契約の内容等                | 別紙 仕様書等 のとおり<br>○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 3 条に該当しますので、仮契約の締結 (令和 8 年 5 月 20 日予定) になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。 |                     |
| 予定価格                  | 29, 199, 940 円 (税込)   | 26, 545, 400 円 (税抜) |
| 入札方法等                 | 条件付一般競争入札 (電子入札)  |                     |
| 質疑<br>(同等品や仕様等に関する事項) | 所定の書式により、FAX で受け付けます。<br>電子入札システムの機能は使用しないでください。  |                     |

|                                   |  |         |  |
|-----------------------------------|--|---------|--|
| 参加条件                              | 営業種目   | 690 自動車 |  |
|                                   | 発注区分<br>区分の詳細は入札公告<br>で確認してください。   | 第 4 区分  | 第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。 |
|                                   | その他の要件   | なし      |  |
| 事前提出書類<br>(システム添付)                | なし   |         |  |
| 落札候補者が提出する書類<br>(FAX046-232-6574) | 開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。<br>(落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。)<br>○内訳書 (本概要書添付の内訳書を使用してください。)                            |         |  |
| 仮契約締結時までに提出する書類                   | 契約保証金の手続きに関する申出書 (本概要書添付の申出書を使用してください。)<br>なお、契約保証金の手続きにつきましては、市ホームページ「令和 8 年度第 2 回入札公告 (4 月 3 日公告)」にあります「入札説明書 契約保証金の取扱い」を確認してください。 |         |  |

# 高規格救急自動車購入 仕様書

- 1 この仕様書は、令和8年度に海老名市消防本部（以下「発注者」という。）が新車製作する高規格救急自動車（以下「車両」という。）の艤装、その他関係事項について定めるものである。

この車両は、高規格救急自動車の標準的な仕様とし、本仕様書によるほか、九都県市指定低公害車又は、国土交通省が定める平成30年度基準排出ガス50%低減レベルを達しているかの、どちらかを満たした車両とするほか、車内に排気ガスが流入しない排気管の構造とすること。その他使用する部材は精選され耐久性に富んだ日本産業規格新製品を使用し、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し緊急車両として承認が得られるものとする。

車両は標準装備をベースとし、本仕様書に明記されていない事項、疑義及び改廃等による製品の変更が生じた場合は、発注者と協議し指示を受けること。

- 2 納入物品

高規格救急自動車 1台

- 3 契約期間

契約締結日から令和9年2月28日まで

- 4 納入場所

神奈川県海老名市大谷816番地 海老名市消防本部

- 5 発注者にて支給する高度救命処置用資機材等（別紙1）を装備できる仕様とする。また、高度救命処置用資機材等を取付けた状態（使用可能）で納入すること。

車両の概要は（別紙2）のとおり。

- 6 受注者は製作に先立ち、発注者と細部の打合せを行った上で、次の関係図書をA4版ファイルに綴じ込み、各3部を発注者に提出し、承認を受けた後、艤装を開始すること。

（1）製作工程表（中間検査及び完成検査予定日を記入すること）

（2）承認図

（3）諸元明細書

（4）電気配線図

- 7 受注者は、納入時の完成図書として、次の関係図書をA4版ファイルに綴じ込み、各2

部を発注者に提出するものとする。

- (1) 取扱説明書（車両関係）
- (2) 積載品（使用方法説明付）・部品一覧表
- (3) 改造自動車届出書の写し
- (4) 写真（プリント及びCDデータ）正面・後面・両側面・室内各部分

## 8 保証期間は、完成車の納入後1年とする。

なお、保証期間後も設計不良、工作不良あるいは材質不良に起因する不都合箇所が発生した場合には、速やかに無償にて修理又は、交換を行うこと。

## 9 検査

中間検査、納車前検査及び完成検査は、発注者の立会いのもと、仕様書及び承認図に基づき、次により行うものとする。

- (1) 中間検査は、製作途中に実施するものとする。
- (2) 納車前検査は、納車前の概ね1週間前に実施するものとする。
- (3) 中間検査、納車前検査及び完成検査を受けようとする場合は、検査予定日の概ね2週間前までに検査日時及び場所等を確認後、書面をもって申請するものとする。
- (4) 完成検査は、神奈川県陸運事務所の検査登録検査後、納入場所において発注者、受注者及び救急用資機材受注者が立会いのもと実施し、検査に合格と認めた後、引き渡しを行うものとする。
- (5) その他として、上記検査以外にも発注者が認める場合は、特別検査を実施できるものとする。

## 10 諸経費

車両納入までに要する経費は、すべて受注者の負担とする。ただし、自動車損害賠償責任保険料、自動車登録手数料、自動車重量税及び自動車リサイクル料金は発注者の負担とする。

## 11 その他

- (1) 納入日2週間前までに車両本体価格が表記されている内訳書を提出すること。
- (2) 完成検査後、発注者が指定する日に取扱説明を実施すること。
- (3) 海老名市環境配慮マニュアルに基づき対象となる事項について環境配慮を行うこと。
- (4) 昨今の世界情勢等の影響により、車体等が納入までに時間を要する場合には、速やかに発注者と協議し、その指示に従うものとする。

消防本部が別途支給する取付品等

別紙1

|   | 品名          |  | 数量 |
|---|-------------|--|----|
| 1 | 酸素吸入装置      | オキシパック OX-ⅢS<br>(アルミ酸素ポンベ、減圧弁等含)             | 1式 |
| 2 | 電動式ポータブル吸引器 | アキュバックプロ WACC-PR                             | 1式 |
| 3 | 車載、定置型吸引器   | 定置型吸引器 WS-1400                               | 1式 |
| 4 | 血圧計         | タイコス アネロイド血圧計<br>ウオール型 ルアーロック付               | 1式 |
| 5 | 搬送用人工呼吸器装置  | ANSWER(アンサー) KOM299DS<br>(その他付属品等含)          | 1式 |
| 6 | 患者監視装置      | 日本光電 ライフスコープVS BSM-3562                      | 1式 |
| 7 | 除細動器        | 日本光電 自動体外式除細動器(二相波形式)<br>TEC-2603 記録器WS-261V | 1式 |
| 8 | 非接触型静脈可視化装置 | アキュベインAccuVein(ハンズフリーキット含む)                  | 1式 |
| 9 | バックボード      | モデル2010 ハイテクバックボード オレンジ                      | 1式 |
|   |             | モデル436-IP バックボードストラッププラスチック<br>バックルタイプ 黒     |    |
|   |             | モデル445 ヘッドイモビライザー                            |    |

## (1) シャーシ関係

| 項 目       | 仕 様                                    |
|-----------|--|
| 1 形式      | 高規格救急自動車(国産車)                          |
| 2 エンジン型式  | ガソリンエンジン(排気量2,400cc以上/出力108kw・147ps以上) |
| 3 ミッション方式 | 電子制御式オートマチック 4WD                       |
| 4 乗員定員    | 合計7名以上                                 |
| 5 タイヤ     | ラジアルタイヤ                                |
| 6 ステアリング  | パワーステアリング                              |
| 7 自動ブレーキ  | メーカー標準仕様                               |

## (2) 運転席関係

| 項 目                        | 仕 様  |
|----------------------------|--|
| 1 サイレンアンプ                  | 音声合成装置内蔵のものとする(大阪サイレン製OPS-D151Q音声合成・住宅モード付)。取付け位置は、ダッシュボードインストルメントパネル中央部とする。<br>メッセージ内容(スピーカーより音声(女性声)が出る)<br>メッセージ1「救急車が通ります。進路を譲ってください。」(日本語→英語パターン)<br>メッセージ2「救急車が交差点に進入します。ご注意ください。」<br>メッセージ3「救急車が左へ曲がります。ご注意ください。」<br>メッセージ4「救急車が右へ曲がります。ご注意ください。」<br>メッセージ5「ご協力ありがとうございます」<br>メッセージ1・2・5は、運転席用のスイッチを設置する。<br>メッセージ3・4は、ウインカー連動とし、消音スイッチを設置する。 |
| 2 アンテナの取付け                 | 無線機のアンテナ一式及び配線を無線機取付け位置まで施工する。<br>点検を必要とする箇所に点検口を設置する。<br>なお、無線機本体の取付けは海老名市が行う。  |
| 3 車両動態管理装置(AVM)及び無線機本体取付装置 | 無線機及びAVMの取付け金具を指示する位置に取付ける。<br>無線機用配管は、フレキシブル配管を使用する。<br>助手席付近及び患者室に無線機用スピーカーを取付ける。<br>無線のアースボンディング工事一式を行う。<br>電源は、バッテリーから直通されていること。<br>金具取付け及び配線に必要となるものは、受注者負担とする。<br>当市で別途契約する無線機メーカーと十分協議すること。   |
| 4 誤発進又は盗難防止装置              | スイッチ等を所定の位置に設置する。(確認ランプ付)  |
| 5 機関員用マイクロホン               | フレキシブル式機関員用マイクロホン一式を運転席右上に取付ける。<br>アンプに接続し手元スイッチを取付ける。(大阪サイレン用 UD-200)   |
| 6 電流計・電圧計                  | 電流計・電圧計各1個を見やすい位置に取付ける。(12V用)  |
| 7 運転席上部収納                  | 運転席と助手席の指定した位置に収納用ネット等を取付ける。   |
| 8 集中ドアロック及びキー              | すべてのドアが同時にロックできる集中ドアロックとする。<br>キーによるリモコン操作で開閉出来る構造とする。<br>(リモコン付4本・アナログ2本)   |
| 9 後方視認装置及びカーナビゲーション        | バックアイカメラを指示する位置に取付ける。<br>バックアイモニターを兼ねたSDナビゲーションシステムを取付ける。<br>フルセグチューナー有  |
| 10 ETC車載器                  | ナビゲーションシステムと連動する構造とする。   |
| 11 インナーミラー                 | 切替え操作することで鏡面ミラーから車両後方カメラの映像をインナーミラーに表示するものとする。   |
| 12 助手席用室内ミラー               | 助手席用の患者室確認用インナーミラーを取付ける。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 13 外部入力コンセント | 車両にマグネット式の外部入力コンセントを装着する。<br>エンジンキーがオフの状態であっても冷温蔵庫等が使用できる構造とする。<br>入力中にスターターが作動しない構造とする。(警報ブザー付)<br>入力中は自動的に車両バッテリーを充電する構造とする。 |
| 14 ステップ滑り防止  | スライドドアステップ及びリアステップにアルミ縞板を取付ける。<br>滑り止めシート付   |
| 15 ドライブレコーダー | 純正ドライブレコーダーを取付ける。  |
| 16 AC出力コンセント | 指定の位置にAC出力コンセントを設置する。  |
| 17 USB出力端子   | 運転席と助手席の間にUSB充電用端子を2箇所設ける。   |

### (3) 患者室関係

| 項 目                | 仕 様  | 数 量  |
|--------------------|--|--|
| 1 メインストレッチャー       | エクステンジタイプ(モデル4080-S,モデル4155)<br>レスキューシート(モデル44)<br>抗菌マットレス 4155用<br>サイドアームリリースリンケージシステム 4155用(左右)<br>サイドアームプレート(パット付) (左右)<br>新型ガードル架キット 4155用<br>コーティングストラップ<br>枕<br>メンテナンス用工具(六角レンチ) | 1台<br>1式<br>1式<br>1式<br>1式<br>1式<br>2式<br>1個<br>1個 |
| 2 防振ベッド            | メインストレッチャーの架台を取付ける。<br>防振ベッドにストレッチャー搬入ガイドを取付ける。<br>ストレッチャー落下防止改造、メンテナンスフリーのものとする。  | 1台<br>1式<br>1式                                     |
| 3 スクープストレッチャー      | スクープストレッチャー(モデル65EXL)<br>収納庫を設け、容易に取出せる構造とする。  | 1台<br>1式   |
| 4 消火器              | 自動車専用4型を指定位置に取付ける。   | 1式   |
| 5 無線機子機配線及びスピーカー   | 患者室の指定する位置に無線子機(送受話器)の配線及びモニターリングスピーカーを取付ける。(ON/OFFスイッチ対応可能)   | 1式   |
| 6 インバーター及び電源用コンセント | AC100V及びDC12V用コンセントを必要数設置する。<br>外部入力コンセントと切替構造とする。   | 1式   |
| 7 時計・温湿計           | 時計(デジタル電波式)を指定の位置に取付ける。<br>温湿計(アナログ式)を指定の位置に取付ける。  | 各1   |
| 8 センサー類収納ポケット      | センサー類が収納可能なポケットを取付ける。また収納ポケットの側面はマグネットを取付けられる仕様とする。  | 1式   |
| 9 吸引カテーテル保持パイプ     | 吸引カテーテルを保持するパイプを指定した位置に取付ける。   | 1式   |
| 10 運転席後部収納庫        | 運転席後部に仕切りを設け、収納庫を設置する。<br>収納庫内には、高さ調整及び取外し可能な棚を2段設置する。   | 1式   |
| 11 助手席後部収納庫        | 助手席後部に仕切り板を設ける。<br>二段収納庫を設置する。内部に仕切り板を設置する。<br>最下段に車両動態管理装置(AVM)の配線等を収納できる仕様とする。   | 1式   |
| 12 ホワイトボード         | 患者室の収納庫扉の指定する位置に取付ける。(A4サイズ)   | 2式   |
| 13 書類入れ            | 指定の位置に地図入れ(大型)を運転席周辺に取付ける。   | 1式   |
| 14 温冷蔵庫            | 患者室内に取付ける。<br>指定の位置に電源コンセントを取付ける。(温冷蔵庫用)   | 1台   |
| 15 網棚              | 患者室天井面に網棚(ルーフネット)を2箇所取付ける。   | 1式   |

|                             |   |     |
|-----------------------------|---|-----|
| 16 前向き1人掛シート                | ハイバックシートとしシートベルトを取付ける。<br>背当てを倒し補助ベッドとして使用できる構造とする。   | 1式  |
| 17 横向き2人掛けシート               | シートベルトを取付ける。<br>2人が掛けられるシートとする。   | 1式  |
| 18 ルーフサイド収納庫<br>(酸素吸入マスク収納) | 収納庫を右ルーフサイド及び左ルーフサイドに2箇所ずつ取付ける。<br>資器材が落下しないよう扉を取付ける。(施錠出来る構造の物を含む)<br>左前ルーフサイド収納庫下部にLED灯を取付ける。 | 1式  |
| 19 C型バネ付きフック                | 必要数を指定する位置に取付ける。任意で移動可能な物とする。<br>(運転席上部2個、助手席上部1個、右側面5個、後ろ向き席上3個)                               | 11個 |
| 20 輸液ビンホルダー                 | 患者室天井部にビンホルダー(2本分)を取付ける。<br>任意で移動可能な物とする。   | 1式  |
| 21 アシストグリップ                 | 右側ルーフサイドに2個取付ける。<br>バックドア開口部左側に大型長タイプを1個取付ける。   | 1式  |
| 22 室内灯及び患者灯                 | 調光器を取付け2段階の切替ができる構造とする。   | 1式  |
| 23 右側後方大型収納庫                | 患者室右側後方の指定する位置に取付ける。(右後収納庫)<br>上段は処置トレイ付のものとする。   | 1式  |
| 24 アキュベインスタンド               | 患者室の指定する位置に取付ける。  | 1式  |
| 25 ウェルパス収納庫                 | 患者室の指定する位置に取付ける。  | 1式  |
| 26 グローブボックス入れ               | 患者室の指定する位置に取付ける。  | 3式  |
| 27 ペーパータオル入れ                | 患者室の指定する位置に取付ける。  | 1式  |
| 28 マグネットフック                 | 必要数を指定する位置に取付ける。  | 6個  |

#### (4) 車両関係

| 項 目         | 仕 様                          | 数 量 |
|-------------|------------------------------|-----|
| 1 サイドバイザー   | フロント両側 (助手席側はアウトサイドミラー対応にする) | 1式  |
| 2 ドアエッジモール  | フロントドア(両側)                   | 1式  |
| 3 特装部予備電球   | 全て(LEDを除く)                   | 1式  |
| 4 タイヤチェーン   | ゴム製                          | 1式  |
| 5 車輪止め      | 2個1組の車輪止め                    | 1組  |
| 6 三角停止表示板   | ケース付                         | 1式  |
| 7 救命浮輪      | ライフボールS                      | 1個  |
| 8 スタッドレスタイヤ | ホイール付 (納入時の装着タイヤについては協議すること) | 4本  |
| 9 補修塗料      | 白(タッチペン)                     | 1本  |
| 10 シートカバー   | 助手席・運転席用(ビニール製又は合皮製)         | 1式  |
| 11 フロアーマット  | 必要枚数                         | 1式  |
| 12 ラジオ      | AM・FM                        | 1式  |
| 13 LED合図灯   | LED合図灯 TRV-2H                | 1本  |
| 14 発煙筒      | 発煙筒(乗降時に干渉しない場所に設置する)        | 1本  |

#### (5) 内・外装関係

| 項 目            | 仕 様  |
|----------------|--|
| 1 ヘッドランプ       | LEDヘッドランプ(標準装備)を取付ける。                      |
| 2 フォグランプ       | 標準ライトを取付ける。                                |
| 3 サイドフラッシャーランプ | フロントドア上部ルーフサイド左右にフラッシャーランプ又はドアミラー組込式を取付ける。 |
| 4 路肩灯          | スモールランプと連動し、オンオフスイッチを取付ける。(LED路肩灯とする)      |
| 5 フロント赤色点滅灯    | LED赤色点滅灯をフロントグリルに取付ける。(大阪サイレン製:LFA-150)    |
| 6 バックドア患者灯     | バックドア患者灯を取付ける。LED型とする。                     |
| 7 コーナーセンサー     | バンパーに取付ける。                                 |

|                  |  |
|------------------|--|
| 8 赤色警光灯          | 車両上部フロント及びリアに大型散光式警光灯を取付ける。(LED式)<br>全周囲からの視認性に優れているものとし、状況に応じて発光パターンを切替できるもの。<br>左右フロントドアの上部にLED赤色警光灯を取付ける。<br>左右リヤルーフ下方にLED赤色警光灯を取付ける。   |
| 9 消防章マーク         | 消防章マークをフロントパネル又はフロントグリルの中央に設ける。  |
| 10 助手席側アウトサイドミラー | 左フロントドアに、後方確認用の補助ミラーを取付ける。   |
| 11 アンダーミラー       | 車両後方カメラの映像をインナーミラー内のディスプレイに表示・切替レバーで鏡面インナーミラーとデジタルインナーミラーの切替が可能なものを取付ける。   |
| 12 旗立て(ステンレス製)   | 助手席ドア上部にステンレス製の旗立てを取付ける。(アルミポール付)  |
| 13 バンパー傷つき防止板    | リアバンパーに傷つき防止用の板(アルミ製)を取付ける。  |
| 14 小型LED灯        | 運転室内助手席頭上部に小型LED灯を取付ける。  |
| 15 赤帯            | 車両前面に赤帯のカットニングシート、左右及び後面に再起性に富んだ反射材を取付ける。  |
| 16 患者室ガラス        | 患者室のガラスは、左側面及びバックドアガラス下1/2を曇りフィルムとし、患者室右側ガラス全面に白色フィルムを貼付する。  |
| 17 患者室プライバシー保護   | 患者室の左側と後部には調光フィルムを取付ける。<br>患者のプライバシー保護及び衛生管理が容易に行えるもので、スイッチにより切替が可能なものとする。   |
| 18 バックブザー        | オンオフ切替スイッチを取付ける。   |
| 19 車体文字及びロゴマーク記入 | 車体左右及び後部ドアの指定した位置に『海老名市消防署』『北分署』<br>車体左右の指定した位置『EBINA CITY FIRE DEPT.』<br>屋根『海北救』 後部『神奈川県』<br>前面及び左右ドア下部の指定した位置に『救北1』<br>車体左右の指定した位置に指定のロゴマークを入れる。<br>色、位置、数、形状等は別途協議すること。<br>その他、発注者が指定するステッカーを納めること。 |
| 20 救急車適正利用ステッカー  | ステッカー(W500×H300(UVラミネート加工・反射シート)を車体左右の指定した位置に1か所ずつ貼付ける。詳細な位置は別途協議すること。<br>ステッカーは別紙③「救急車の適正利用 ご協力ください」を参照   |

## (6) その他

- 1 換気扇・ヒーター・エアコンは標準装備とし、各スイッチには、銘板を付けること。
- 2 白色塗装は、素地調整、錆落としを完全に行うこと。
- 3 資機材及び装備品は、走行中の衝撃や振動によって破損、落下、移動又は騒音が生じない構造とすること。
- 4 AVMタッチパネル及び無線機本体メーカーはNEC製。 連絡先:NECネットエスアイ(株)神奈川支社
- 5 法令により反射材を使用したカットニングシートを貼付けることができない箇所及び車体の構造により貼付けが困難となる場合は、反射材を使用しないカットニングシートとする。

ステッカーシート

W500×H300mm

**救急車の適正利用**



**ご協力ください**

**海老名市消防本部・消防署**

# 内 訳 書

件名：高規格救急自動車購入

| 品 名              | 数 量 | 金 額 |
|------------------|-----|-----|
| 高規格救急自動車         | 1台  | 円   |
| 小 計              |     | 円   |
| 消費税相当額及び地方消費税相当額 |     | 円   |
| 合 計              |     | 円   |

# 海老名市役所環境方針

## 基本理念

海老名市は、昔から自然豊かな田園地帯として栄えてきたまちです。しかし、首都近郊という立地条件に恵まれ都市化が進んできた結果、産業の集積や利便性の高い生活の営みが、良好な生活・自然環境に大きな負荷を与える要因にもなっています。

海老名市役所は、未来の世代に住みやすい「ふるさと」を手渡すために、市民の身近な環境問題から地球的規模につながる環境問題に取り組み、継続的な改善及び汚染の予防に努め、人と自然が共生し持続的発展が可能なまちづくりを目指します。

## 基本方針

この基本理念に基づき、市が行う各種事務事業の執行について、関連する環境法規制、協定及びその他の同意事項を順守し、環境負荷を最小限に抑えるとともに、環境に有益な影響を及ぼす事業を積極的に推進します。

また、市民等の利害関係者の環境問題に関わる要望、意見のうち可能なものを市の環境活動に反映させるほか、国及び県その他の組織等から市に伝えられる環境関連情報、市が収集・分析した情報及び市が環境関連政策として発信すべき情報を、必要に応じて市民をはじめとする利害関係者に伝えると同時に必要な啓発に努め、環境問題に対する地域全体の意識向上を目指します。

これらの取組みにあたっては、実現可能なものから、目的・目標として設定するとともに、市の環境マネジメントシステムはもとより、市の環境問題に対する取組み全体を継続的に改善・向上させます。

この環境方針は、全職員に周知するとともに、広く一般に公表します。

2014年6月19日

海老名市長 内野 優

## ● 契約事業に関する環境要素

海老名市の契約事業における環境要素は以下の環境要素一覧表のとおりである。

これらの環境要素は、生活環境並びに地球環境の保全及び向上を図るためにかかすことのできないものである。

### 環境要素一覧表

| 大分類          | 中分類     | 小分類   |
|--------------|---------|---|
| 1 地域の自然環境    | (1) 緑   | ①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑                           |
|              |         | ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑            |
|              | (2) 水 辺 | 河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系                      |
|              | (3) 動植物 | 現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物                  |
| 2 地球環境       | (1) 資 源 | ①石油類・金属等の鉱物資源                                 |
|              |         | ②木材等の森林資源                                     |
|              | (2) 大 気 | ①自動車の排気ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気汚染 |
|              |         | ②公園、屋外体育施設などの砂塵による迷惑を考慮すべき地域的な大気汚染            |
|              |         | ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境          |
|              | (3) 水 質 | ①庁舎、公園、屋外体育施設、駐車場などの施設からの排水の影響を受ける水系          |
|              |         | ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系                        |
|              |         | ③契約業務実施により影響を受ける地下水                           |
|              | (4) 土 壤 | 畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面                   |
|              | (5) 廃棄物 | ①一般廃棄物  |
| ②産業廃棄物       |         |   |
| ③リサイクルできる排出物 |         |   |

環境要素一覧表

| 大分類    | 中分類        | 小分類   |
|--------|------------|---|
| 3 生活環境 | (1) 騒音     | ①業務実施に伴う作業機械の稼動による騒音                        |
|        |            | ②業務実施に伴う車両走行による騒音                           |
|        |            | ③公園、競技場等屋外体育施設での騒音                          |
|        |            | ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音                          |
|        | (2) 振動     | ①業務実施に伴う作業機械の稼動による振動                        |
|        |            | ②業務実施に伴う車両走行による振動                           |
|        |            | ③施設の空調機等電気・機械設備の振動                          |
|        | (3) 悪臭     | 施設等から排出される廃棄物等の悪臭                           |
|        | (4) 人の健康   | ①公園、競技場等屋外体育施設での健康増進、体力の向上                  |
|        |            | ②薬剤等の使用による人への影響                             |
|        |            | ③事業活動によって生じる人への影響                           |
|        | (5) 地域生活環境 | 公園、競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 |

● 「計画・実施」時に配慮する事項

17. 物品購入

|   | 配 慮 す る 事 項   | 環 境 要 素                                      |
|---|---|--|
| 1 | 購入物品の納品に伴い排出される廃棄物は、適正に処理する。                                      | 2-(5)-①・③                                    |
| 2 | 購入物品納品時の運搬車両の台数制限に努める。  | 2-(1)-①<br>2-(2)-①<br>3-(1)-②<br>3-(2)-②     |
| 3 | 購入する物品については、海老名市グリーン購入基本方針に沿って商品の選定に努める。                          | 1-(1)-①<br>1-(2)・(3)<br>2-(1)-①・②<br>2-(2)-① |
| 4 | 物品の納品等に使用する車両は、環境に配慮した車両の使用に努める。<br>(例：電気自動車、ハイブリッドカー、低排出ガス車等の使用) | 2-(1)-①<br>2-(2)-①<br>3-(1)-②<br>3-(2)-②     |
| 5 | 購入物品の納品回数を少なくするようにする。   | 1-(1)-①<br>2-(1)-①・②<br>2-(2)-①              |
| 6 | 製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮することに努める。                 | 1-(1)-①<br>2-(1)-②<br>2-(5)-①                |